

一般社団法人 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 2024年度 事業報告

報告対象事業期間

2024年6月1日～2025年5月31日

主な活動内容

1. 政策提言

子ども・若者の環境を改善するために必要となる提言、教育支援団体の活動を後押しする提言を軸として、中央省庁に対する政策提言を進めるべく、会員団体との提言内容検討機会の創出や、他のネットワーク団体等との検討を進めてきた。

12月16日には、村井英樹衆議院議員（元内閣官房副長官）が設けてくださった、こども家庭庁、厚生労働省（生活困窮者自立支援室長ほか）との意見交換会に参加し、学習・生活支援事業の国による補助率の拡充についてお話させていただいた（同補助率拡充については、その実現は決して難しくはないものの、法改正のタイミングを考慮すると少し時間がかかるとの見解であったため、継続的に提言を行なっていく）。

また、2月8日・9日には、会員団体と提言内容を検討する前段として、直近の子ども・若者政策の動向を踏まえた「政策提言ワークショップ」を実施した。

2. シンポジウムの開催

教育支援を取り巻く現状について、支援現場における具体的な話を盛り込みながら、今後の支援のあり方についての検討・議論を行う場として、11月23日に北海道大学（北海道札幌市）にて現地の教育支援団体にもご登壇いただきシンポジウムを開催した。なお、本シンポジウムは会員団体でもある、公益財団法人ベネッセこども基金さまに加え、北海道大学教育学研究院さまとの共催として開催した。

3. 合宿勉強会の開催

会員団体間の知見の共有やネットワーキングを目的として、2月8日・9日に福岡県福岡市にて合宿勉強会を開催（16団体27名が参加）した。

4. 「教育支援団体個別支援プログラム 2024 supported by 日本生命」の実施

日本生命保険相互会社様のご支援を受け、全国各地で生活困窮家庭の子どもに対する教育支援活動を行っている非営利の団体を対象とした伴走支援プログラム「教育支援団体個別支援プログラム 2024 supported by 日本生命」を実施した。

採択団体は、NPO 法人 bond place（山梨県）、NPO 法人全国夜間中学ネット（兵庫県）、一般社団法人くじら寺子屋（沖縄県）の3団体であり、7月から翌年3月までの

約9カ月間にわたり伴走支援を実施、4月18日には成果報告会も開催した。

また、同プログラムについては、日本生命保険相互会社様から2025年度も継続してご支援いただくことが決定、2025年度の採択団体は、NPO 法人太陽の家（三重県）、一般社団法人 UME プロジェクト（広島県）、NPO 法人しげまさ子ども食堂ーげんき広場ー（大分県）の3団体に決定した。

加えて、9月15日には「教育支援団体個別支援プログラム2023 supported by 日本生命」の伴走支援団体である、新潟県長岡市の NPO 法人こどもみらい食堂主催のフォーラムに青砥代表が登壇した。

5. 企業とのマッチング事業

2024年度も多く企業のみなさまから様々なご支援をいただき、会員団体のみなさまにお繋ぎさせていただいた。なお、株式会社壱番屋様からは「学習支援環境整備プログラム supported by 壱番屋」として、総額1,100万円規模の物品購入のためのご寄贈をいただいた。

＜ご支援企業（五十音順）＞

- ・株式会社壱番屋様 / 学習支援環境整備のために必要な物品のご寄贈
- ・株式会社荏原製作所 / 文房具等のご寄贈
- ・東洋建設株式会社様 / 東京港クルーズご招待
- ・日本航空株式会社様 / 羽田空港見学プログラムご招待
/ 文房具等のご寄贈
- ・日本生命保険相互会社様 / 大阪関西万博チケットのご寄贈
- ・公益社団法人リース事業協会 / パソコンの無償ご貸与

6. 啓蒙活動

当会ホームページ、並びに Facebook ページにて、子どもの貧困や教育支援に関する情報発信を実施した。

7. その他の活動

➤ 専門誌「学校事務」への原稿の執筆

「子どもの学びを保障する就・修学支援」という特集の中で、全国の方々に対して、実際に就・修学支援に取り組んでいる民間団体の活動を紹介するという観点から、いくつかの団体の活動についての原稿執筆のご依頼をいただき、理事の田口氏にて対応した。

➤ 「日本ソーシャルワーク学会」での基調講演

8月24日・25日に文教大学越谷校舎（埼玉県越谷市）にて開催された「日本ソーシャルワーク学会」において、代表理事の青砥氏が「一人の子どもや若者

も取り残さないためのソーシャルワーク実践」と題した基調講演で登壇した。

➤ 「こども・若者支援全国ネットワーク（仮称）の設立に向けた意見交換会」への参加

村木厚子氏、池田徹氏、当会会員団体でもある認定 NPO 法人スチューデント・サポート・フェイスの谷口仁史氏を呼びかけ人として開催された「こども・若者支援全国ネットワーク（仮称）の設立に向けた意見交換会」に理事の森山氏が参加した。

➤ こどもまんなか社会実現プラットフォームへの参加

子どもの声をしっかりと聞ける場、官民・民民連携の場として機能することを目指す「こどもまんなか社会実現プラットフォーム」に副代表理事の李氏が参加した。

➤ 「MinecraftCup2024 全国大会」大会アドバイザーへの就任

昨年度に引き続き、「MinecraftCup2024 全国大会」の大会アドバイザーに代表理事の青砥氏が就任した。

会員団体、協力団体について

会員団体については、2024年5月末時点で91団体（前年比：10団体増）となった。また、協力団体としては2団体からのご賛同をいただいている。

理事会の開催について

2024年度、理事会を全6回開催した（①7月22日、②9月30日、③11月21日、④1月24日、⑤3月28日、⑥5月23日）。

理事会では、各理事が当会の運営方針、活動計画等について協議した。

一般社団法人 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会
2024年度 事業報告附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項

◆特記事項なし